

# 氷見市議会企画総務委員会会議録

令和2年12月11日(金)

氷見市庁舎議事堂特別会議室

開会 午前 9時59分

閉会 午前11時17分

- 1 案 件 令和2年12月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名  
積良委員長、竹岸副委員長、正保委員、萩山委員、谷口委員、嶋田委員
- 3 委員外議員 小清水副議長
- 4 職務のため出席した事務局職員 串田事務局長、舛田事務局次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、篠田副市長、京田企画政策部長、森秘書広報課長、高野地方創生推進課長、戸田企画政策部参事(地域振興課長)、藤澤総務部長、泉澤総務課長、東軒財務課長、三島税務課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 4人
- 7 経過及び結果
  - ・積良委員長が開会を宣告し、市長から決算特別委員会で指摘されたタクシー代を返納した旨の報告を含めた挨拶の後、議事を進行した。
  - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可決または承認することに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
  - ・委員長報告の作成は、委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和2年12月11日

氷見市議会企画総務委員

積良 岳

# 令和2年12月企画総務委員会付託案件表

令和2年12月11日(金) 午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 秘書広報課 10:02~
  - ・ 議案第81号 令和2年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中  
秘書広報課所管に係る事項……………説明書P. 8
  - ・ 議案第98号 氷見市有線テレビジョン放送の指定管理者の指定  
について……………議案書P. 70
  
- ◎ 地方創生推進課 10:11~
  - ・ 議案第93号 高岡市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に  
係る連携協約の変更に関する協議について……………議案書P. 50
  - ・ 議案第94号 射水市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に  
係る連携協約の変更に関する協議について……………議案書P. 54
  - ・ 議案第95号 砺波市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に  
係る連携協約の変更に関する協議について……………議案書P. 58
  - ・ 議案第96号 小矢部市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に  
係る連携協約の変更に関する協議について……………議案書P. 62
  - ・ 議案第97号 南砺市とのとやま呉西圏域連携中枢都市圏形成に  
係る連携協約の変更に関する協議について……………議案書P. 66
  
- ◎ 地域振興課 10:20~
  - ・ 議案第81号 令和2年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中  
地域振興課所管に係る事項……………説明書P. 16
  
- ◎ 総務課 10:43~
  - ・ 議案第81号 令和2年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中  
総務課所管に係る事項……………説明書P. 26
  - ・ 報告第19号 氷見市一般職の職員の給与に関する条例等の一部  
改正について……………議案書P. 93
  
- ◎ 税務課 11:02~
  - ・ 議案第90号 氷見市地域経済牽引事業の促進による地域の成長  
発展の基盤強化のための市税の特別措置に関する  
条例の一部改正について……………議案書P. 46
  
- ◎ 財務課 11:03~
  - ・ 議案第81号 令和2年度氷見市一般会計補正予算(第7号)中  
財務課所管に係る事項……………議案書P. 1
  - ・ 議案第89号 氷見市督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正  
について……………議案書P. 43

(注) 一般会計における繰出金(財務課を除く)、人件費(総務課を除く)、財源補正及び  
節区分補正に係る説明は不要です。

## 主な質疑応答

<p>秘書広報課 森課長</p> <p>谷口委員</p> <p>森課長</p> <p>谷口委員</p>	<p>〈案件外〉タクシー利用料の返納について。平成29年度から昨年度までのタクシー代は昨日までに納付した。金額は先日81,510円といったが、再度精算の結果1件追加となり、合計85,050円となった。お詫びして訂正する。内訳は市長が49,440円、随行職員が4名で35,610円となった。以後このようなことがないように気を付けていく。</p> <p>〈案件外〉有線テレビジョン放送の指定管理について。債務負担行為の限度額が載っていないが市からの管理料はなく利用料金で賄っているのか。行政番組はどのようなものがあるか。清算はどのように行っているのか。</p> <p>受信料を収受して指定管理費としている。行政番組は議会中継やもっと知りたい伝えた氷見市政、こちら氷見市芸人課、ぶりっ子テレビ等がある。受信料が管理業務の財源となっており、多額の修繕がかかる場合は市と協議することとなる。残額があれば翌年度に繰越す。5年の最終年で受信料収入の3%を超える繰越があれば、その50%を市に支払うこととなる。</p> <p>市民の中に関心のある方もいるので、広報等でお知らせいただきたい。</p>
<p>地域振興課 正保委員</p> <p>戸田参事</p> <p>正保委員</p> <p>戸田参事</p> <p>谷口委員</p> <p>戸田参事</p>	<p>生活路線バス維持対策事業について。路線維持や利用促進のため、運行経路や運行時間の変更を検討してはどうか。</p> <p>待つだけではなく利用しやすくすることが大事だが、変更する体力がない。乗りやすくしようとすると便数を増やさないといけないが、今は何とか維持している状況。氷見駅から氷見高校に行く氷見高校線は始業時間に合わせ時間の変更があつてからか多くの利用がある。利用者のニーズに合わせる必要がある。</p> <p>アンケートをとって、ニーズをつかんだらどうか。</p> <p>2年前にアンケートしたが、その時はバスが必要かどうかの質問だった。利用したい時間のアンケートは有効と思うので検討したい。</p> <p>〈案件外〉城端氷見線アンケートについて。移動実態と利用意向の2つの調査が11月にあった。氷見市のかかわりはどうなっているのか。</p> <p>11月5日を基準日としてお願いした。LRT化検討会の一環として、移</p>

<p>谷口委員</p> <p>戸田参事</p> <p>林市長</p> <p>谷口委員</p>	<p>動量や交通手段を把握するため、氷見市では概ね2 km 以内に住む1, 650名を抽出し実施した。</p> <p>アンケートがいきなり送られてきたと聞く。移動実態調査の最後に住所番地や名前も書くようになっている。個人情報を書くのはなぜか。</p> <p>交通事業の調査に詳しい業者に委託している。市民に安心していただくよう各市の封筒に入れ、各市の市長名を付している。エリア内の移動を把握するため、調査内容を他に利用することはない。任意の調査であり、理解した上で回答をお願いしている。</p> <p>細かな調査により属性がわかってくる。ご協力願いたい。</p> <p>今後は市民が不安にならないようなアンケートにすること。</p>
<p>総務課</p> <p>正保委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>正保委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>正保委員</p> <p>泉澤課長</p> <p>正保委員</p>	<p>〈案件外〉人材育成・組織の機能強化について。スキルアップを目的に、人を評価する人事評価制度の在り方についてどう考えているか。</p> <p>多様化する市民ニーズに的確に対応するため、自ら考え企画行動し、課題を解決する能力、業績を上げる職員の育成確保を目的として、職員力の向上と組織力の向上を目指し、能力評価と業績評価の2種類を実施している。公正客観的に評価し、良い点は認め、悪い点は改善すべきと考えている。</p> <p>評価する側とされる側の理解度や面談の状況はどうか。</p> <p>研修や制度の説明会を開き、職員は毎年の評価シートを作成しているので理解は進んでいる。能力評価は年1回の評価時に上司と部下が面談している。業績評価は上司と部下が面談して、半期ごとに目標を設定する。評価時にも面談し指導助言している。その他必要に応じ面談している。</p> <p>能力評価は年1回、業績評価は半期に3回で年6回している。</p> <p>スキルをアップするという事は、日々の努力要素のチェックや、相談、遅延の確認に1対1の面談が必要で、マニュアルどおりにやっても疑問がある。</p> <p>業績評価業務の進行管理も兼ねていて、その都度面談している。</p> <p>時間外が増えている現状を例に挙げて、原因はどこにあるのかを面談することにより改善できるのではないか。</p>

泉澤課長	<p>いわれるとおり面談は大事と考えている。</p>
正保委員	<p>人事評価制度は、職員の能力や業績を評価するのが最終目的ではない。あくまで人材育成のひとつの手段として職員力の向上と組織力の向上を養っていく。適正な人事配置や能力と目標のギャップを把握分析して本人の改善方法の材料にすべき。個人のスキルアップは組織の活性化になる。今後の具体的な人事評価の活用はどのように考えているか。</p>
泉澤課長	<p>能力評価は、等級ごとの標準職務遂行能力を示し、発揮した能力、求められる行動を評価している。結果は研修やキャリア開発、人事異動等に活用している。</p> <p>業績評価は、設定した目標を超えたのか超えなかったのかを絶対評価している。結果は業務の進行管理や業務改善、人材育成に活用している。</p>
正保委員	<p>人と人の対話が大事で問題解決につながっていくと思うが考えは。</p>
泉澤課長	<p>働き方改革のなか、職場全体の風通しのよい職場づくりを進めていく。</p>